

レクチャー 6.25

大阪でアーツカウンシルを考える会+enoco

学びと情報共有の場 『考えるための勉強会 Vol.4』

「なぜ大阪はアーツカウンシルだったのか」

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [学びと情報共有の場 『考えるための勉強会 Vol.4』](#)

大阪でアーツカウンシルを考える会+enoco

学びと情報共有の場 『考えるための勉強会 Vol.4』

テーマ「なぜ大阪はアーツカウンシルだったのか？」

—大阪からアーツカウンシルを眺めてみる

「大阪でアーツカウンシルを考える会」は、enoco（江之子島文化芸術創造センター）と共同で『学びと情報共有の場 | 考えるための勉強会』を開催します。

昨年度は、民間版（アーツサポート関西、大島賛都氏）、沖縄版（杉浦幹男氏）、青森市版（立木祥一郎氏）アーツカウンシルの関係者をお招きし、仕組みとその特徴についてお話を伺いました。

今年度は、日本のアーツカウンシルの特徴でもある「基礎自治体」を単位にしたアーツカウンシルの可能性について勉強してみたいと思います。

今年度の「考えるための勉強会」は、まずはじめに当会メンバーであり、大阪アーツカウンシルの制度設計に携わった山口洋典より、大阪アーツカウンシル設立の経緯とその制度的特徴について改めておさらいします。

日 時 | 2015年6月25日（木） 19:00～21:00

トーク | 山口洋典（立命館大学共通教育推進機構サービスラーニングセンター准教授）

入場料 | 寄付制

会 場 | 大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco] 2Fルーム8

主催：大阪でアーツカウンシルを考える会+enoco

問合せ | 大阪でアーツカウンシルを考える会事務局

think-ac[at]osaka.arts-npo.org

*[at]を@に変換して送信してください。

【プロフィール】

山口洋典（やまぐち・ひろのり）

1975年静岡県磐田市生まれ。立命館大学在学中に、阪神・淡路大震災を経験。

震災のボランティア活動を通じてNPOの活動に関わり始める。

大学院在学中に、特定非営利活動法人きょうとNPOセンターの設立に参加。

財団法人大学コンソーシアム京都での教育・研究企画の業務を通じて、

特にNPOを主体としたコミュニティ創出・維持・発展の実践に携わる。

2002年より大阪大学大学院人間科学研究科ボランティア人間科学講座(地域共生論)博士後期課程にて、

上町台地からまちを考える会をフィールドにコミュニティ・シンクタンクの展開における

グループ・ダイナミクスを研究。2006年4月からは大阪・應徳院の主幹に着任、

浄土宗の宗徒となる。また10月には同志社大学大学院総合政策科学研究科助教授を併任。

2011年には立命館大学共通教育推進機構准教授となり、立命館災害復興支援室の設立に携わり、

東日本大震災の支援に取り組む。また、橋下徹・大阪市長の着任後、大阪府市連携による

アーツカウンシルの設置検討に特別参与として従事。

導入初年度は大阪府市文化振興会議の委員として運営に参画した。

サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocoについて	> お知らせ・プレスリリース	Like 73
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録	ツイート
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター	
	> レンタルスペース	> お問い合わせ	
		> アクセス	

